



強化方づえを使ってさらに多様なニーズに対応

独自の発想のマルチな部材。くさび緊結式足場の弱点であった梁間方向の剛性を大幅にアップさせ支柱の座屈強度を上げることができ、揺れや水平力にも強くなります。

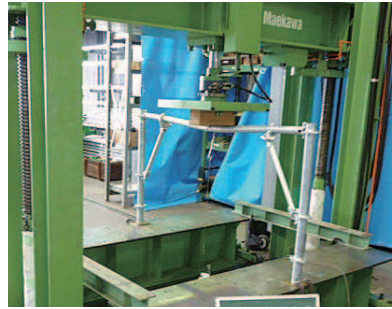
コンパクトな形状でも支柱の許容支持力12.5kN → 最大23.5kNに大幅アップ!!^{※1}

強化方づえは支柱と布材を同時に簡単に補強できる独自の専用機材です。

ステージ(棚足場)の腕木の補強のみならず、強化方づえを取り付けることで支柱の座屈強度を大幅にアップすることが出来ます。しかも取り付けはハンマー1本でワンタッチ後付け可能。

床付き布枠の掛かった状態でも簡単に取り付けでき、必要な部分、必要な期間だけ強化を行うことが可能です。足場の部分的補強、通行しやすい支保工、棚足場、ローリングタワー、さらには50~60m超えの超高層足場の支柱補強と多彩なニーズに応えることができます。

※1 最大許容支持力23.5kNは両面先行手すり、2層以内に壁つなぎを設置した場合の強度です。片面が布材の場合は16kNになります。また、壁つなぎのない棚足場の場合の許容支持力は1支柱あたり13.0kNとなります。

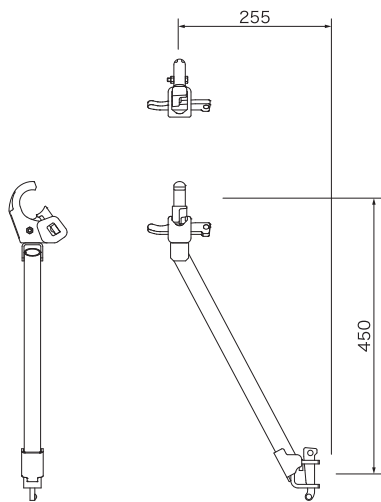


腕木強化の荷重試験



支柱強化の荷重試験

強化方づえ



通常の布材に後から取り付け可能、床付き布枠の掛かった状態でも簡単に取り付けられます。

型式	質量(kg)
XG2545S	1.5



床付き布枠を掛けた状態でもハンマー1本で簡単に着脱可能

1 高層足場で部分的な補強が必要な場合も強化方づえで簡単に支柱強化。

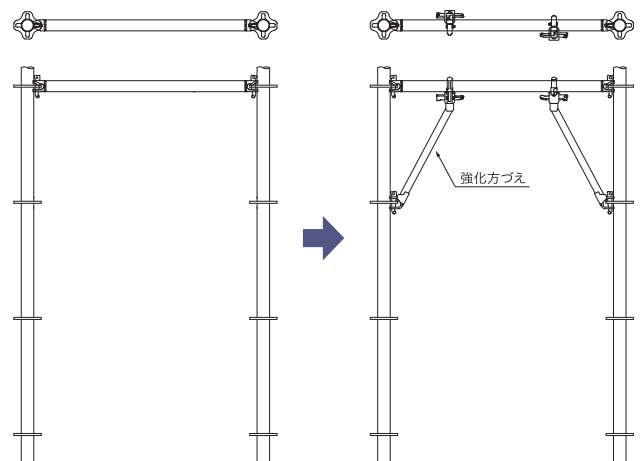
仮設工業会システム承認

地上よりの最上部が31mを超えた場合、従来は超えた高さ分の足場下層部を単管・クランプで2本組にする面倒な補強が必須でした。これが、平成27年7月1日の労働安全衛生規則改正により、支柱が強度を有する場合は組上げられる高さ特に制限がなくなりました。

アルマトロスは1支柱の許容座屈強度が12.5kNあり、基本部材のみで構成される通常スパン部は支柱の補強なしで45m以上の足場設置が可能です。^{※2}

ただし、梁枠開口を支持する支柱や階段設置部、荷取りステージ等の取り付け部は部分的に支柱の強化が必要になります。アルマトロスは強化方づえの取り付けにより簡単にこの補強を行うことが可能です。しかも床付き布枠を掛けた状態でも簡単に取り付け可能ですので、RC・SRC新築工事等では躯体の進捗に応じて必要な時点からの取り付けも可能で経済的にも優れます。

見た目もすっきりし、メッシュシートや壁つなぎを既に取り付けた支柱でも簡単に取り付けられ、コンパクトな形状で610mm幅の足場でも通行に支障をきたしません。もちろん、足場端部の手すりの取り付けにも邪魔にならない多目的の強化部材です。



※2 足場の条件等により若干の差があります。
単位:mm

2 ステージ(棚足場) 仮設工業会システム承認

縦横自由自在。立体的に組める自由がもう一つのメリットです。

アルバトロスは強化方づえを使えば棚足場をつくるのが可能になります。もちろん外部足場とつながった荷取り構台も簡単です。

エントランスホールなどでは梁枓を併用するとトラックの車路を確保した仕上用ステージをつくることができます。

昇降通路部分に通行の邪魔にならない強化方づえを使い、他の部分の構面を先行手すりを使い分けることも可能です。

棚足場も、もちろん手すり先行工法の作業で安全に設置・解体。最上部のステージ部分は大引受や根太を使わずに通常の床付き布枓で敷き詰めを行うことができます。



梁枓併用で広い開口確保

3 ローリングタワーももちろん手すり先行工法。枓組式ローリングでは不可能なワイドなタワーも可能です。

仮設工業会システム承認

強化方づえを使えば安定性に優れたワイドなローリングタワーをつくることも可能です。最大1829mm幅まで可能で、しかもアルバトロスローリングタワーは従来型のローリングタワーの一番の弱点であった組立・解体時の墜落のリスク回避、安全帯取り付けの対策も、安全で簡単な手すり先行工法で簡単に解決できます。※3



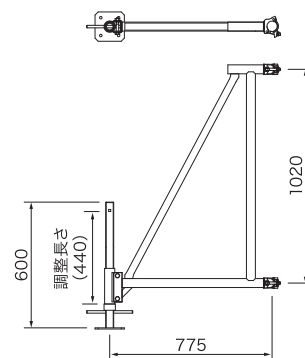
ワイドな1.8m×1.8mのローリングタワー



ローリングタワー使用時の安定性検証 傾斜実大実験

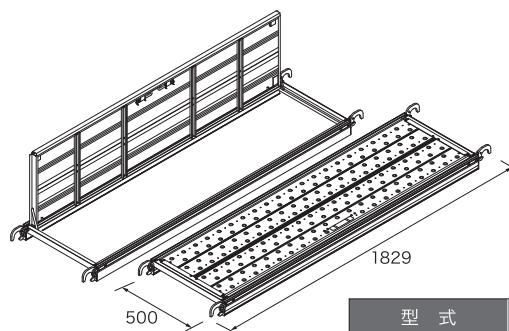
※3 強化方づえは全層又は最上層の腕木への取り付けが必要です。

■ アウトリガー



型式	質量(kg)
SR775XJG	11.9

■ 全開閉式床付き布枓



型式	質量(kg)
ALTH518S	13.4

